

## 平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年度実施事業の概要は次のとおりです。

### 1 博物館事業

来館者のニーズにこたえ、魅力ある博物館をめざし、常設展示をはじめ特別展、ミニ企画展示等の充実、学校教育活動特に総合的な学習への協力等を行い、絹知識の普及と需要の促進に寄与するよう努めました。

#### (1) 普及事業

##### ア 一般展示事業

絹知識の普及と需要の促進を図ることを目的に、興味ある常設展示に努め、学校教育活動の場や生涯学習の場及び絹による服飾工芸の鑑賞の場として活用できる博物館をめざして、ミニ企画展示、実演、講習会等の更なる充実に努めました。

##### ・「養蚕実演及び蚕種配布事業」

養蚕実演期間 平成 22 年 4 月 1 日～12 月 25 日

##### ・「理科教育用蚕種配布」

配布日 平成 22 年 5 月 13 日・14 日

配布先 小学校 379 校、幼稚園 147 園、その他 42 件

合計 568 件

配布数 蚕種約 26 万粒（13 箱分）

##### ・「かいこの観察記録展示会」

会 期 平成 22 年 11 月 23 日～平成 23 年 1 月 10 日

##### ・「総合的な学習」への対応

養蚕・製糸・絹の歴史などをテーマに取り組んでいる多くの学校からの問合せや相談、現地指導などに対応し、支援に努めました。

##### ・ミニ展示「染め屏風」

会 期 平成 22 年 9 月 14 日～10 月 3 日

- ・ミニ展示「つまみかんざし」

会 期 平成 23 年 3 月 5 日～3 月 21 日

- ・「実演会・講習会」

- ・「くみひも実演と講習会」

実演日 平成 22 年 4 月 10 日～平成 23 年 2 月 26 日

計 21 回

講習会 平成 22 年 6 月 12 日・13 日

平成 23 年 2 月 12 日・19 日

平成 23 年 3 月 5 日・6 日

- ・「手作り真綿の実演と講習会」

実演日 平成 22 年 7 月 18 日～8 月 15 日

回 数 8 回

講習日 平成 22 年 11 月 24 日～11 月 27 日

回 数 4 回

- ・「真綿からの太糸作り及び指編み実演と講習」

実施日 平成 22 年 5 月 5 日～平成 23 年 1 月 28 日

計 19 回

- ・「つまみかんざし講習会」

講習会 平成 23 年 3 月 13 日

## イ 特別展事業

- ・シルクロード浪漫「ペルシャシルク絨毯の世界」

会 期 平成 22 年 4 月 24 日～5 月 23 日

- ・華麗なる能装束「稔りの季」

会 期 平成 22 年 6 月 1 日～8 月 29 日

- ・「第 21 回全国染織作品展」

会 期 平成 22 年 10 月 9 日～11 月 14 日

- ・「親と子のかいこの自然科学教室」

会 期 平成 22 年 7 月 17 日～8 月 15 日

・「シルキークリスマスーシルク博物館×東京農大一」

会 期 平成 22 年 12 月 1 日～12 月 26 日

(2) 広報事業

小・中学生をはじめ、服飾関係学校、ホテル、旅行会社、雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等報道機関などへPRを行うと共にインターネット等を積極的に利用して来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要促進に寄与するよう努めました。

(3) かながわシルク製品等物産展の開催

本県の伝統的産業であるシルク製品等の普及・啓発及び販路拡大等を図るため、シルク製品に関わりのある団体及び神奈川県と共同して、「かながわシルクフェア 2011」を開催し、横浜港の繁栄を支えてきた、シルクの魅力の周知に努めました。

期 間 平成 23 年 3 月 4 日～3 月 11 日

(4) 資料収集事業

展示の充実を図るため、資料の収集に努めました。

○資料収集 人間国宝 玉那覇有公作 紅型両面着物「丸文様に松竹梅」

河原彩香作 染訪問着「空夢」

田中千香子作 織着物「みなわ」

○蚕糸関係の古写真 7 点

○購入図書 「美しいキモノ」など 7 冊

(5) 博物館実習生の受入れ

学芸員の資格をとるための実習生を受入れ、「親と子のかいこの自然科学教室」での子供たちへのかいこの飼育観察、体験学習の指導などを中心に実習を行いました。

受入れ大学と人数 10 大学 15 人

(6) ミュージアムショップ事業

横浜のシルク産業を支援する取組として、横浜繊維振興会（Y T A）が、引き続き販売業務を実施しました。

(7) 天皇皇后両陛下のご視察

平成 23 年 2 月 7 日シルク博物館に、天皇皇后両陛下がご視察（行幸啓）されました。

**2 関係諸機関への部室提供事業**

平成 22 年度末の入居者は、99 、入居面積率は 91 .83%でした。

**3 建物及び諸設備等の維持管理事業**

建物及び諸設備の適切な維持管理のため、経年劣化した箇所の修繕等を計画に行い、入居者の安全確保や執務環境等の維持向上に努めました。

**4 附帯事業**

立体駐車施設（44 台）及び正面玄関前駐車場（15 台）を入館者並びに来館者の利便に供するため駐車場の適切な管理運営に努めました。